

**実証的経済分析**

教授 水野勝之

**1. 研究内容**

ゼミでは、「経済の不思議を発見」をテーマとし、経済の実証分析を中心に行う。経済における不思議を発見し、その不思議がなぜ起きているのか、そこに問題があるとしたらどのように解決していけばよいのかを考える。国内外の経済において、この順での実証的分析を行う。

**2. ゼミの進め方**

下記をグループに分けて取り組むこととする。

2年生：経済の不思議を発見できるように水野が誘導し、その不思議のデータの取り方・分析の方法を教える。経済の論文の書き方も教える。（＝ステップ1：手取り足とり指導する。）ソフトについてはエクセルの基本機能を使う。海外の経済事情を学ぶために海外でのゼミ合宿を実施（参加任意）。

学会や研究会での報告：国内での報告（国内の経済の不思議の提起と解決方法を示す。）

3年生：自分たちの力で海外の経済の不思議を見つけ、その解決方法を探る。（＝ステップ2：自主性の尊重）分析ソフトについては、エクセルを使う。また、専門ソフト（STATA）も利用する。

学会や海外でゼミ合宿を行う予定。研究会での報告：海外での報告（国際的な経済の不思議の提起と解決方法を示す。）

4年生

授業ではオリジナル力をより一層鍛えたい。オリジナルな論文を作成する。（＝ステップ3：より一層の自立を促し、経済の論文の作成を指導する。）分析ソフトについては、2・3年時に習ったエクセルか、専門ソフト（STATA）を用いる。

論文文化：2年生、3年生で学んできた知識に基づいて論文を書く。実証分析を含めることを課題とする。

その他

- ・合宿、海外研究報告については、受講者と相談の上判断する。2018年度は韓国の全北，米ロチェスター，英ロンドン，2019年度はニュージーランドのクライストチャーチと韓国の大邱（テグ）。
- ・授業はパソコン教室を使用する。

**3. 教材**

水野勝之著「テキスト計量経済学第2版」中央経済社，2005年

**4. 成績評価**

- ・授業開始時に比べて授業終了時に力（新しい発想力（最も重要）、物事を筋道を立てて構成しかつその過程を一つ一つを根拠づける力、プレゼン力など）が付いたかを判定する。
- ・授業への貢献，報告内容，論文内容を評価する。

**5. ゼミ入室試験（選考方法）**

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

**6. その他・志願者へのメッセージ**

数学は苦手と構わない。実証分析の計算には既存のソフトを使うからである。ゲーム感覚で使ってほしい。オリジナルな思考を鍛えたい。